

在京花巻人

発行 在京花巻人会
連絡事務局

東京都千代田区飯田橋
4-4-8 東京中央ビル603号
電話 03-6256-8082

2019年度の活動方針

在京花巻人会会長 瀬川 紘一



平成最後の年も4ヶ月が過ぎこの会報が届く頃には年号も改まっていると思いますが、2ヶ月後には新年号と共に「在京花巻人のつどい」が開催の運びとなります。今年7月6日(土)午前11時から、会場は昨年と同様に御茶ノ水の東京ガーデンパレスです。是非皆様お誘い合わせの上で参加頂きますようお願い申し上げます。

25日も埋め立て工事を続行し投票結果を無視する姿勢を鮮明にしています。民主主義の後退が指摘される中で、「国家」とは一体何なのか、「国家」と国民の関係は一体どうあるべきなのか、時代の節目にあたって改めて考えさせられました。「国家」の形態は、長い宗教戦争が終わった17世紀半ばの欧州で生まれています。この時代は近代哲学や近代科学が出そろった時期でもありました。当然、国家を運営するための近代政治哲学も生まれています。その中で、今特に考えてみたいのは「リベラリズム」についてです。「リベラリズム」は、近代社会が避けがたく抱える価値観の違いによる対立を、個人個人の「自由」を認め合いながら他者と共生することによって解決

しようとする原理です。「リベラル」とは「寛大さ」という意味ですが、政治的なライバルを敵としてではなく正当な存在として受け入れ、権力を行使する際には節度をわきまえることが、今最も求められているのではないのでしょうか。さて、私達「在京花巻人会」も、地方の置かれた状況に思いを致しながら、今年度も活動を続けて参ります。今年度の活動方針も例年と同じ、会員同士の交流・親睦と花巻の活性化への貢献の二本柱です。

会費納入のお願いと納入状況の報告

1. 令和元年度会費納入のお願い
在京花巻人会の運営にご協力を賜りありがとうございます。花巻人会は会員の皆様からの会費で運営させて頂いています。会費は「花巻人のつどい」「会報の発行」「歩こう会」等に使用させて頂いています。令和元年度の会費3000円は同封の振込取扱票(手数料不要)で最寄りの郵便局より下記の口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。

在京花巻人会会長 瀬川 紘一

□座名義 在京花巻人会
□座記号番号 00240-6-111794

2. 平成30年度の会費納入のお礼と納入状況報告
30年度の会費納入額は3月末現在270名 810,000円、この他7名の方から52,000円の寄付を頂き合計862,000円でした。会員皆様のご理解とご協力に感謝とお礼を申し上げます。

会計担当 高橋良光 板垣雅子

に会員に呼びかけたいと思います。又、今年度は9月に「花巻まつりツアー2019」を実施します。後述するよう、交流人口の増加を目的にしたツアーですが、会員の交流・親睦のためにも大変良い機会になると思います。

次に花巻市の活性化への貢献活動ですが、首都圏の会員への情報発信活動と、各種の観光物産展や花巻の名産品を紹介する首都圏の催しへの動員が中心です。情報発信は会報とメルマガ熊タイムズが中心ですが、出来るだけ地元花巻の幅広い情報を会員にお届けし、花巻をより身近に感じてもらいたいと願っています。各種の花巻関連の首都圏での催しについては、今年も花巻観光協会

令和元年度「第34回在京花巻人のつどい」のお知らせ

日時：令和元年7月6日(土) 11時～14時
会場：東京ガーデンパレス
住所：東京都文京区湯島1-7-5
電話：03-3813-6211
アクセス：JR御茶ノ水駅 聖橋口

や花巻市の関連セクショと連携し、出来るだけ多くの情報を入手して会員に参加のお声掛けをしていきます。

今年特に力を入れる活動は、9月14日～15日に実施する「花巻まつりツアー2019」です。花巻まつりに色々な思い出を持ち懐かしさを感じる会員が多い中、花巻に実家はもう無いとか、一緒に楽しむ友人や親戚も居ないということで、祭りを身近に楽しむことの出来ない会員が多くいます。こういった会員に花巻まつりを「自分達のまつり」として楽しんで頂くことがこのツアーの目的です。この活動が、首都圏と花巻の間での交流人口の増加につながることを切に願っています。会員の皆様には是非ご参加頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

会員の活動報告コーナー

今年(2月3日)も
中野サンプラザにやって来た
丹内獅子躍を見に行つて!!

理事 松田 文男

今年の2月3日(節分の日)は晴天に恵まれ、無風と絶好の獅子躍日和となりました。この丹内金津流獅子躍は昭和46年に前在京東和町友会々長の佐々木幸三さんと新井薬師梅照院の大僧正との縁で奉納舞を始められたもので、今年で29回を迎えました。

遥々花巻の東和町からやってきて、到着するなり梅照院で奉納舞を行いその足であの聴き慣れた太鼓を打ち鳴らして中野のサンプラザ広場にさま



迎えました。この行事はすっかり中野の風物詩の一つとなり、都内はおろか近郊の人達の楽しみになっていくようで、広場はいつの間にか大勢の人垣が出来ていました。然しこの日は岩手県連の新年懇談会開催と重なり、花巻の各在京会の方が出席の為何時もの方の姿を見ることはありませんでした。しかし、獅子躍のほつは新しい演目披露があり、大勢の観衆はこの壮大な舞に満足の様子でした。その後は恒例の広場から新井薬師参道を経由して梅照院までのお寺さんや氏子総代の方、歳男や歳女の方、赤鬼青鬼と女優の松原千恵子、佐渡ヶ嶽部屋の琴奨菊関等芸能人たちが一緒に太鼓打ち鳴らしてお練りが行われ、到着した梅照院では多数の豆まきを待っていた参拝客を前に再度奉納舞を披露し大拍手の中、盛大な豆まきが行われました。豆まき終了後は此の獅子躍を何時もお世話してくれている佐々木幸三さんが獅子躍の方の慰

労兼ねた2次会を用意してくれましたが、獅子躍の方が何時も宿泊していたサンプラザホテルは取り壊しの問題で閉鎖され、また、梅照院の事務所は民泊問題の旅館法改正で使用できなくなり、やむをえず新宿のホテルに泊まることになりました。また、翌朝帰郷するので体力的に2次会参加は無理となり、結局我々在京会の8人で2次会を行い散会となりました。首都圏にいながら岩手を代表する無形民俗文化財花巻の獅子躍を拝見する機会ですので毎年の2月3日を忘れず、中野サンプラザ広場で会いましょう!!

岩手県人連合会 「新春懇親会」に参加して

副会長 高橋 良光

今年も県連の新春懇親会が2月3日(日)ホテルラングウッド(JR日暮里駅近く)に於いて205名の参加者のもと盛大に開催されました。在京花巻ふるさと会からは瀬川会長を始め15名が参加加盟するさと会団体の中で一番の参加人数です。

会は12時45分に始まり、開会の挨拶に続きアトラクションは紫波郡矢巾町出身の工藤菊詩さん代表の「菊詩会」の民謡と踊りで賑やかに始まりました。菊詩会は東京都、神奈川県を中心に活動している会で、民謡で全国大会に出場しているとの事です。会場は岩手民謡を中心に「南部よっしゃれ節」「南部牛追い唄」等田舎で親達の飲み会の時に耳にした懐かしい唄が続き、最後は盛岡出身歌手「福田こうへい」の「南部蝉しぐれ」で盛り上がりました。

ターンを進める説明会を首都圏で行っている等明るい話題でした。各テーブルでは、気取ることなく岩手の方言で今年も良い年で健康でありたい等々の会話で盛り上がりていました。最後は恒例になっている「北国の春」を合唱し閉会となりました。尚、今年の「県人連合会の総会つどいは6月2日(日)に同会場で開催されます。誰でも参加出来る会ですので参加して下さい。



恒例花巻産直市 in平塚開催

副会長 畠山 秀

去る2月21日(木)から24日(日)までの4日間

平塚駅近く平塚市民プラザにて恒例の花巻産直市が開催されました。

平塚市都市提携委員長の平野様でご挨拶下さいましたが、今年で通算35回目を迎えたこの産直市は金婚亭さんを始め出店者の皆さんの努力の成果だと大変褒めて頂きました。出店者の皆さんの努力もさることながら買い物をしてる方の会話を聞いていますと花巻が大好きな市民の多さに驚かされると共にこの相性の良い湘南の裕福な大都市平塚の皆さんにもっともつと花巻の良さを知って頂ければ更に喜んで頂けるものと感じました。

今年のお振る舞いは甘酒とわんこそばでしたが、補助券を集めてのお楽しみ抽選会も人気があります。私も毎年買ひ物をして来るのですが、金婚亭・丸一さんの漬物、ゴマとピーナッツの南部せんべい、エーデルワイン、白金豚の直ぐおかずになる豚肉、喜平堂さんの和菓子などどれも安く買っているのどついつい買ってしまいます。

また当会報にも載せていますが、9月の花巻祭りツアーのお話を平野様

にしました処大変喜んで下さり是非参加したいとの意向でした。これを機会に更なる交流の拡大が出来るものと期待しております。



日本橋の桜周遊クルーズに参加して

会長 瀬川 紘一
去る3月31日(日)在京石鳥谷町人会が幹事となって行われる在京花巻ふるさと会のイベント「大横川の桜周遊クルーズ」に参加してきました。各在京ふるさと会からの参加者は総勢30名、在京花巻人会からは6名参加、今年は在京金ヶ崎人会からも4名が初参加されました。

薄曇りながら時々陽も差し天気は上々、日本橋の河岸の発着所を船は11時に出発しました。日本橋川を下って隅田川へ、頻繁に通る観光船の大きな波を横切り大横川に入りました。今年はほぼ満開のタイミングでの桜クルーズとなり、越中島のあたりでは見事な満開の桜を大横川の川面から堪能することが出来ました。70分のクルーズを楽しんで日本橋河岸に帰着、本当に素晴らしい平成最後のお花見となりました。



日本橋の袂の満開の桜の木の下で記念撮影後、昼食懇親会場の日本橋の老舗レストラン紅花別館へ。洋食をたっぷり楽しんで。今年2月15日(金)夜7時から、表参道にあるレストラン「ベニーレ・ベニーレ原宿店」で「岩手ワインの夕べ」(株)エーデルワイン、(株)岩手くずまきワイン、(株)紫波フルーツパークの3社が主催する「岩手ワインの夕べ」が催されました。ざっと200人ほどが参加する大きな会でしたが、在京大迫人会の内村会長や在京石鳥谷町人会の高橋会長、それに夫々の役員ともども参加し会を盛り上げました。

イタリア料理を着に3社のワインを楽しみました。やはり赤も白も、そして口ゼモ60年の歴史を誇るエーデルワイン

「岩手ワインの夕べ」に参加して

み、飲み放題でビールやワインなどを沢山頂き、会話も大いに弾み盛り上がりしました。幹事の在京石鳥谷町人会の役員の方々には毎年素晴らしいお花見を企画して頂き本当に感謝です。



に一日の長があるように感じたのは、単なるひいき目ではなかったと思います。ちなみに当日、日本ワインを愛する会の副会長で、「日本ワイン礼賛」という著書もある辰巳琢朗氏が出席されていきました。内村会長が辰巳氏にエーデルワインの評を伺ったところ、素晴らしいワインで将来性もあるとの評価だったそうです。

2時間ほどワインを飲み続けましたのでさすがに皆さん相当なご機嫌になりましたが、9時過ぎにお開きとなりました。

マトゥーリ男声合唱団演奏会を聴いて

理事 松村 扶恵子
2018年12月19日第14回「マトゥーリ男声合唱団演奏会」が飯田橋のトッパンホールにて夜7時開演されました。マトゥーリ男声合唱団は、テノール歌手で元国立音

楽大学教授の小林一男先生が主宰する合唱団で、2005年に創立され新宿文化会館を主な練習場にして活動を続けています。在京花巻人会の瀬川紘一会長が5年ほど前から趣味で参加しており、毎年12月になると団員として演奏会に出演しています。

今回は在京花巻人会の方々と共に、在京石鳥谷町人会から高橋弘美さん、川村三郎さん、大竹雅夫さんにもご来場いただき、合計十数人で演奏会を鑑賞してきました。山田耕祥の歌曲や、マトゥーリのピアノスト小林さかえ先生の作詞作曲によるオリジナル組曲「空五章」などを聴きながら、レパートリーの1つ東日本大震災復興支援応援歌「忘れない忘れまい」はいつも感慨深く聴きますが、毎年被災者を思い歌われるこの歌は私の心に響きます。また今回は瀬川さん初めてのソロがあり、クリスマスキャロルメドレーではソプラノ歌手佐々木康子さんの素晴らしい歌声にうっとり！団員の皆様も黒のタキシードに揃えて赤や緑のポケット

チーフを胸に、クリスマスらしい演出も楽しいものでした。「そつらん節」や「マイ・ウェイ」が男声合唱団らしく、力強く、そして優しい歌声にすっかり魅せられた一時でした!! 寒い日でしたが、帰りは心暖かく帰宅の途に就きました。



瀬川 紘一 会長



マトゥーリ男声合唱団 Coro Maschile | MATURI

《はなまき あれこれ》

若獅子凱旋ふれあいイベントとスポーツ栄光賞

昨年12月2日(日)花巻市総合体育館において、昨年リーグ優勝を果たした埼玉西武ライオンズの花巻市ゆかりの3選手による「若獅子凱旋ふれあいイベント」が開催されました。凱旋したのは、菊池雄星投手(花巻東出身)、山川穂高選手(富士大出身)、外崎修汰選手(富士大出身)の3選手です。

第1部では、選手たちが花巻や野球に対する思いなどを語るトークショー、さらには直筆サイン入りのユニホームが当たる抽選会などが行われ、詰めかけた約3千人のファンと交流を深めました。

第2部では、小中学生を対象とした野球教室が行

われ、19チーム約350人が参加、菊池投手からは投球、山川選手からは打撃、外崎選手からは守備の指導を受けました。

又、開会セレモニーで、昨季活躍した山川選手と多和田投手(この日は欠席)に「花巻市スポーツ栄光賞」が贈られました。(これまで畠山和洋選手、大谷翔平選手、菊池雄星投手等が受賞しています。)

(広報はなまき12/15号より)



「ワインツーリズムいわて2018」開催される

旧聞に属しますが、今年も同様の催しが開催されるかと思われますので、昨年10月14日(日)に開催された「ワインツーリズムいわて2018」についてご紹介します。

参加者が自由にプランを立てて、バスで花巻市と紫波を中心とした12のワイナリーと日本酒の酒蔵を巡るといったイベントです。費用は5000円、13日にはマルカンビルの食堂で前夜祭(参加費1500円)もあり、宿泊される方のために花巻南温泉郷の限定宿泊プランも用意されています。主催は花巻市、企画・運営

は一般社団法人ワインツーリズム(山梨県)です。

東北では山形について2番目の開催となりましたが、全量国内原料で国内醸造の日本ワインが注目される中、県内や首都圏・関西方面から200名の参加者があったとのこと。参加者は、作り手側との会話、さらには伝統芸能や名物料理を楽しんでいます。

詳細は、swtiwate.com、

お問合せは、otoiawase@swtiwate.com へ。

(岩手日報、広報はなまき、より)

平成30年度「花巻市成人式」が行われる

花巻市成人式が1月12日、花巻市文化会館で行われました。今年の対象者1026人のうち835人(男性409人、女性426人)が参加し、清々しく晴れた冬空の下久しぶりの再会を喜ぶ笑顔が広がりました。

式典では、上田市長が「社会の変化が目まぐるしい昨今、今の生活や考え方を見つめ直し、考え続けてほしい」と式辞を述べました。又、新成人を代表して記念行事実行委員会委員長で盛岡看護大学2年の佐々木小梅さんが「大人としての自覚を持ち、物事に対して本気で考え行動し、多くの事を経験したい」と成人の決意表明を述べました。

式典後には、記念行事実行委員会(新成人14名、来年の対象者12名)主催の「平成最後に最高の“ありがとう”」をテーマに記念行事が開催されました。花巻市のお薦めスポットを紹介する動画や、旧友・両親への感謝の気持ちを読み上げたりして、会場からは懐かしむ声が上がっていました。

(岩手日報、岩手日日、広報はなまき2/1より)



「おおはさま宿場の雛まつり」開催される

今年も、2月22日(金)から3月3日まで、「おおはさま宿場の雛まつり」が大迫町内で華やかに開催され、大勢の見物客が訪れました。

大迫は、明治から大正時代にかけて葉タバコや生糸の生産が盛んで大きな財をなした商家が多く、買い付けに訪れた京都や東京の商人が雛人形を売り歩いたと言われていました。享保雛、次郎左衛門雛、古今雛など、江戸時代の高級品が多く残っており、全国的にも注目されています。

今年もメイン会場の大迫交流活性化センター(大人400円、高校生以下無料)や中心市街地の商家など30会場に、約2300体の代々受け継がれた貴重な

ひな人形が展示され、来場者を出迎えました。23日には、着物でひな巡りを楽しんでもらおうと気付けコーナーも開設、華やかな着物に身を包んだ参加者は、宿場の春を満喫していました。

なお、大迫・宿場雛まつり実行委員会(山影義一会長)は、今年第36回岩手日日文化賞(地域振興部門)を受賞し26日には送呈式が行われました。(岩手日日、広報はなまき3月号より)



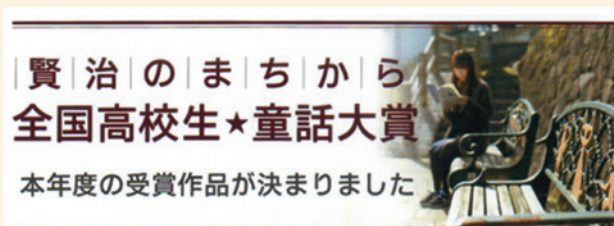
着物姿で雛巡りを楽しむ皆さん

「全国高校生童話大賞」平成30年度受賞作品決まる

花巻市は心に残る多くの童話作品を書いた宮澤賢治が生まれ育ったまちです。無限の可能性を秘めた高校生の豊かな想像力と自由な表現力を発揮してもらうため開催しているこの大賞は、昨年18回目を数え、みずみずしい感性で輝きを放つ多くの作品が集まりました。

平成30年度の応募総数は176校、861編に上りました。この中から最終選考の結果、大阪府の山本晴香さん(高校1年)の作品『セミのぬけがら』が金の星賞(大賞)に選ばれました。又、銀の星賞(優秀賞)には3編、銅の星賞(佳作)には6編が選ばれました。

金の星賞、銀の星賞に選ばれた4人には、盾や図



書カードのほか、賢治のふるさと花巻への研修旅行が副賞として贈られました。なお、表彰式は12月15日(土)なはんプラザで行われ、花巻北高校放送部による大賞の朗読、花巻農業高校鹿踊り部による「鹿踊」の演舞が披露されました。

(広報はなまき12/1号より)

花巻農業女子会「東京交通会館マルシェ」に出展

去る2月9日(土)、有楽町駅の目の前にある東京交通会館の前庭で開催されているマルシェ(市場)に、花巻から花巻農業女子プロジェクトチームの「農花(のうか)アグリビーノ」が出店、編集部が応援に駆けつけました。

この女性チームは、平成28年に農業に興味のある女性が集まって結成した団体で、農業と家庭を両立させながら、イベント出展や研修会・講習会、さらには異業種交流など、様々な活動に取り組んでいます。

お店で出展者の斉藤さんにご挨拶し、頑張ってくださいとエールをおくりました。当日は東京も雪がパラついていた寒い日でしたが、寒さに負けず元気にお客様と対応しておりました。雪は花巻も少ないとは

言っていましたが、さすがに東京とは思えない寒さには少々戸惑っているようでした。

お店には、「あやめ姫」と名付けた大根や「もものすけ」と名付けたカブなどユニークな野菜や、リンゴの加工品が並んでいました。試食させて頂いた切山椒とがんとすき、それにイチゴを買って帰路につきました。

(会長 瀬川 紘一)



第61回元祖わんこそば全日本大会開催される

第61回目となる「元祖わんこそば全日本大会」が、2月11日(月)、花巻市文化会館で開催されました。今年も小学校の部、個人の部、団体の部と10時から16時まで熱戦が繰り広げられました。

1杯10グラムのそばを制限時間内に何杯食べられるかで競う大会ですが、特に個人の部は大勢の参加者が集い、毎年結果が注目されます。今年の個人の部は、国内のみならずドイツと台湾からも参加者があり、総勢180人の「食士」がだしの香りが漂う会場で激しい戦いを演じました。

観客席からは「食べ(ケ)」「もう一杯」「飲み込め」などの応援の声が飛び、食士の背中を後押ししていました。各食士は、市内高校の生徒が努める給仕と息を合わせ、次々にお椀に入れられるそばを口にかき込んでいました。

個人の部の結果は、5分間で242杯を食した神奈

川県小田原市の井本英明さんが優勝し61代横綱となり6連覇を達成しました。今回、55代横綱の神山翔平さんが井本さん



次々と空けられるおわんに、そばを入れる給仕

止しようとして参加されました。井本さんは第55回大会で神山さんに8杯差で敗れており、今回も大いに意識されたようです。しかし、神山翔平さん(茨城県)は今回は218杯で井本さんに及びませんでした。

(広報はなまき、井本英明さんのサイトより)



今回の思い出コーナーは、花巻市松園町在住の高橋憲一さんに特別に寄稿頂きました。高橋憲一さんは、豊沢ダム建設によって湖底に沈んだ湯口の豊沢部落のご出身で、部落解散後も絆を保つために結成された豊沢

会の立ち上げや、郷土芸能の継承に貢献されています。地域色豊かな往時の豊沢部落と、ダム建設によって四散することになった人々の様子を描いた貴重な記録です。

(編集部)

湖底に眠るふるさと(前篇)



高橋 憲一

(前田中24年卒)

この寄稿の資料にと、昨年の晩秋鉛温泉から豊沢川の清流に沿って4キロほど進むと、昭和三十六年に竣工した豊沢ダムが見えて来た。私の生まれた古里である。

灌漑期も残り貯水は殆どなくそこにはかつて理想郷を謳歌した豊沢集落跡が昔のままの様相を現わし、中ほどをイワナ、

ヤマメ、カジカなど群をなしていた豊沢川が夕日に照らされながら流れていた。その川に沿って昔の道を進むと両側に屋敷跡の土台石や、小さな校庭跡、歩んだ小径がそのままひっそり佇んでいた。暫し我が家の庭跡に佇むと、在りし日の部落行事の一つつや、長老の姿格好などが懐かしく蘇ってきた。春になると山桜がのどかな里を囲み、初夏には放牧地を馬の親子が駆け巡り、ウグイス、カッコウ、ホトトギス、つばめなどにぎやかに飛び交い、秋は満山紅葉と変わるなど、移ろ



湖底と化した昔の集落

う自然の趣きは正に楽天地でもあった。

ダムが一望できる道路側に集落から四散してから三十周年を記念して昭和57年に建立した碑が建っている。

その碑文の一部

「昔から部落民は、文化経済更正活動が極めて活発で他地区からの視察団も多かった。昭和に入りこの地にダム建設が計画されるや部落民は日夜この事業に猛反対を重ねたのであった。しかし古来より水利紛争に熾烈を極めた下流域地域農家四千数百戸の永

久の救いと地域産業文化の飛躍的發展を思い、限らない愛着と別離に涙しながら建設の協力を約したのが昭和二十七年四月であった。惜別の情 断ちがたきを断ち、宮野目、松園町、万丁目、矢沢、二枚橋等々に四散したのであった。今満々と水をたたえている湖畔に立ち万感迫るを禁じ得ない (以下略)」

「土着」

そもそも私たちの祖先がこの地に土着したのはいつの頃であろうか。こ

れという残っている書き物もなく、言い伝えでは鎌倉時代中期に遡るであろうと言われていた。

一方豊沢関係者(殆ど高橋姓)は、石鳥谷町の「時宗光林寺」が菩提寺となっておりその関連をたどると、光林寺起志には、「石鳥谷八幡、寺林城主野通重の嫡子通次は武士修行のため京都に上ったのであったが、親戚にあたる時宗開祖一遍上人の佛法の道に感動して佛門に皈依し上人の弟子となった。その後上人と別れ郷里に帰り生死無常の眞理を説いて現在の光林寺を建立し宿阿上人として一途に佛道に専念教化に努めた。ところが弘安三年(1280)のある夜枕辺に熊野大権現が現れ『これより西の深山におこもりせよ』とお告げがあり上人豊沢に上りて日夜六字の名号を唱えること二十一日満願の日、河川波濤大いに上がり天地振動してやがて治まると傍を流れる沢の淵底に燦然と輝くものあり。これ不思議と拾いあげてみると一尺九寸二分の木造の阿弥陀像であった。これを草庵に安置し

てその地に生活していた樵夫に佛道を説いたと記されている。740年もの昔のことである。

このことから我が先祖はこれ以前からこの厳しい山の中で一鍬一鍬を振るって拓いてきたものと思われる。出現した阿弥陀像は光林寺のご本尊となっており、現地(豊沢出羽沢)は光林寺公園として檀家により毎年整備されている。

「文化活動、掟など」

部落には独自の定めなどがあり、慶応元年には次のような掟を制定し挙げて理想郷づくりに一丸となった姿が偲ばれる。(申し合わせ掟)

前々より肝入、組頭を相立て村方締めも致し来し処、日頃に至り自然に相流れ、この度組頭相談の上左の規定を相立て候事

(十ヶ条のうちから一部)
一、銘々職分の儀は油断なく相働き 家業に精出し 諸役相勤め候事

一、博打諸勝負、不義密通いたし村方を取り騒がせし候儀、老若に限らず決して相憤

む候事

一、村に急事これ有る節は一同打ち寄り相互に救い合い候事

一、喧嘩、口論、又は家内内乱などのこれ有る節は、何分にも組頭にて扱を入れ平和落着候事 (以下略) 右十ヶ条相談の上組頭を立て締り相立て候

若し以来破り候う之有る候はば、不心得の罪により軽きは式拾貫文より、騒限に応じ過料を取り上げ候。なお破りしは御上様の御捌を申しべく候

慶応元年中閏五月

組頭 新助 ㊦

外四名 ㊦

肝入 仁右工門 ㊦

外一名 ㊦

追つて明治時代に入り結成した青年会は部落活動の中核をなし、四大節拝賀、墳墓清掃、形式虚礼廃止、風紀乱防止等を定め、文化活動では機関紙「豊沢会報」を発行各戸配付、劇団を結成し舞台披露などを掲げている。

機関誌は戦後まで発行し主に部落の出来事や戦況報告、ダム建設に伴う部落対応のことが記され

ていた。

特に部落の最高の楽しみの一つに演芸団「豊盛団」の田舎芝居があった。学校のたまり(講堂)を客席として一段高い隣り教室の間戸をはずすと恰好な舞台ともなり泣いたり笑ったり、隣部落からも見物に来たものであったと聞いたものである。(昭和十六・十七年ごろまで続けられたものだったろうか)

父が、劇ではまま子奇め役が多くてしばらく部落の人達から憎まれ目で見られたものだった、と晩年回想していた。一座日誌を見るとあちこち遠くは和賀の方まで出かけたことも記されている。その頃の小道具は今も保存しており、この地に共に移り来た神社の毎年の前夜祭のステージ幕にも利用している。

「山の恵み」

山里の生活経済は山に頼ることが多く雪が消えると山野にはワラビ、ゼンマイ、シドケ、ミズなど山菜が豊富で数時間で背籠一杯を採り、秋には茸、町の業者が毎日のように買いに見えたも

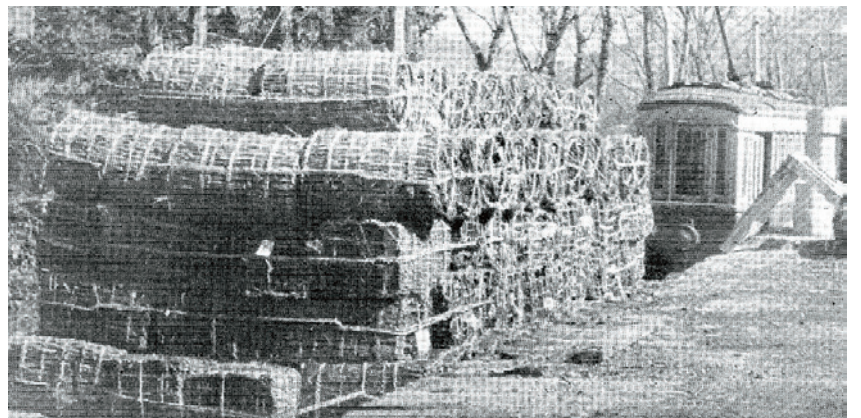
のであった。

又、農作業も終わつた秋口には例年営林署から国有林の払い下げを受けて立木のまゝ各戸に分けて一冬中の炭焼き作業であった。

当時はガソリン、ガスも欠乏し木炭は石炭と共に国の貴重な燃料資源となり製炭は部落経済を大いに潤し活気づけたものであった。記録では一シーズンに

四、五万俵の生産量とある。伐採、木寄せ、縄、俵作り、出荷と家族総出の仕事で、子供達も深い雪の中をつまご、かんじきで大人と一緒に頑張って働き、特に窯からの成出し作業は窯の中の高さが子供の背丈ほどでとても重宝がられたものであった。帰りには顔が神楽の三番叟のように真っ黒になっていた。

部落の中央には大きな



貨車で出荷される炭俵

「ダム築造、別れ」

喜之助氏の記録の一部から

昭和に入り下流地区ではダム建設運動の組合を設立し、これが主体となって本格的にダム築造をするという噂が豊沢にも流れて来たが部落には一つの通知もなかった。

これに驚いた吾々は組合に、又県知事始め関係官庁に築造計画を中止するよう陳情嘆願書を提出し、反対運動を繰り返し続けた。主婦達も一団となって荏旗を立て、反対陳情に押しかけた。

このころ国では満州事変から支那事変と発展し痛い戦争が続けられていた。一方豊沢部落では営林署から経済更正模範部落の指定を受け繁栄と楽土建設に躍起になり青年団、婦人会が主体となり部落一丸となり、燃えに燃えていた。模範部落が新聞等に報道されるなど視察団もあつたが絶えなかった。

戦争の方は矛をおさめる時機を失い大東亜戦争へと拡大し、国の経済も窮乏し、あらゆる物資が不足を来した。従つてダム建設も影を潜め、こ

れで中止されるものと安心し、喜んだものであった。

この時期、部落入口の道路脇に豊沢のシンボルとして「豊沢平和郷」の標柱を建てて樹立式を挙げ一層の団結と精励を神に誓つたのであった。やがて終戦となり出征軍人も帰省し待望久しかった電灯が灯り、分校であった小学校が昇格、県下第一号と言われた公民館も建設され、この公民館を中心として各分野にわたつて部落活動が盛んに行われていた。しかしそのような中、戦後日本はあらゆる物資は困窮を極め食糧増産、開拓増反等は最も大きな政策であった。これに伴い必然的に用水確保から、暫し休んでいた豊沢ダムの建設は、昭和二十四年農林省管轄事業となり、いよいよ工事が本格化されたのであった。

頻繁に鳴り響く発破の音、長年重ねた反対運動も効なさず七百有余年の栄枯の歴史に終止を打つことになり、堪えて協力に調印したのは昭和二十七年四月であった。

(続く)

「花巻まつりツアー2019」のご案内

8年続いた「ふるさと復興支援ツアー」の後企画として、今年是在京花巻人会が幹事となって「花巻祭りツアー2019」を実施することになりました。どうぞ奮ってご参加下さいますようよろしくお願い申し上げます。

今回のツアーは、ふる里花巻が遠くなり疎遠になっている会員の皆様に、懐かしい「花巻まつり」を身近に楽しんでもらおうと企画しました。花巻まつりの見物が中心ですが、「花巻まつり特産品フェア」や「大迫ワインまつり」も楽しんで頂こうと思います。花巻への行き帰りは新幹線、一泊二日のツアーとなります。なお、現地参加の人数に制限がありますので、お考えの方は幹事にご相談下さい。

- 旅行期間** 2019年9月14日～15日、1泊2日 **募集人数** 51名(先着)
- 費用** 39,000円(現地参加費用:18,000円)
- 旅程** 9/14(土曜) 東京駅8時15分八重洲中央口改札前集合
 8:48 やまびこ43号東京駅発、11:46 北上駅着(東北線乗り換え)
 12:18 花巻駅着 ホテルグランシエールへ、12:40 歓迎昼食会、終了後チェックイン
 15:00～20:00 おまつり広場(吹張町、上町、大町)で花巻まつり見物
 (18:00～20:00 花巻のお店が出展する屋台村や一般屋台で夕食・各自負担)
 20:00頃～22:00頃 上町「養老乃瀧」にて二次会(希望者・会費制)
- 9/15(日曜) 9時30分 ホテルロビー集合、9時40分出発(貸切りバス)
 10:00～11:15 花巻まつり特産品フェア(花巻市民体育館)
 12:15～14:15 第50回大迫ワインまつり見物(テントとテーブル椅子用意)
 15:00～16:30 早池峰神社、花巻市総合文化財センター等、大迫各所訪問
 16:55 新花巻駅到着、17:19 はやぶさ112号新花巻駅発、19:56 東京駅着、解散

※参加をご検討の方は6/15までに下記まで氏名、住所、電話番号をご連絡下さい。チラシをお送りします。

Tel 03-6256-8082(事務所留守電) Fax 03-6256-8083(24時間対応) (ツアー幹事 高橋良光、携帯:090-5448-8198)



第21回岩手県人連合会 ゴルフ大会のご案内



- 開催日** 2019年10月9日(水)
- 会場** 紫カントリークラブ(あやめコース)
 千葉県野田市鶴奉463-1
 Tel 04-7124-1177
- 募集人員** 160名:在京花巻ふるさと会からは2組(8名)以上予定
- 締め切り** 2019年8月末日
- 問合せ先** 高橋千代吉 TEL・FAX 048-596-2013
- ◎恒例の岩手県人連合会の主要行事の一つで大盛況の本大会は特に懐かしくて微笑ましい「ナマリ言葉」が飛び交う楽しい交流の一日は参加の皆様にご覧いただいております。
- 先ずはお問い合わせ下さい、大会詳細資料をお送り致します。

まだ間に合う歩こう会

新橋駅から愛宕神社を巡り麻布十番へ

5月25日(土) 午前10時30分、JR新橋駅日比谷口SL広場集合。愛宕神社にお参りし、NHK放送博物館を見学した後、麻布十番の商店街を訪れます。まだ間に合いますのでご参加の程、よろしくお願い致します。(連絡先 高橋良光 090-5448-8198)

訃報 元花巻商工会議所会頭宮澤啓祐氏逝去



去る3月23日午後11時36分、宮澤商店代表取締役の宮澤啓祐氏が、花巻市内の病院で誤嚥性肺炎のため逝去されました。4月7日、花巻市文化会館において宮澤淑様が喪主となり盛大に葬儀がとり行われました。

宮澤啓祐氏は、1993年から四半世紀にわたり花巻市商工会議所会頭を務められ18年6月に名誉会頭になられました。長年経済や教育など様々な面で花巻を牽引されてきましたので、市民の間には大きな衝撃が広がっているようです。ご冥福をお祈り申し上げます。

2019年度在京花巻ふるさと会の主な行事予定

開催日	地区名	内容	会場・等	最寄り駅
5月25日	在京花巻人会	25回歩こう会	愛宕神社～麻布十番	JR新橋駅
6月2日	岩手県人連合会	総会・親睦会	ホテルラングウッド	JR日暮里駅
6月7～10日	花巻観光協会	花巻物産展	岩手銀河プラザ	JR有楽町駅
7月6日	在京花巻人会	総会&つどい	東京ガーデンパレス	JR御茶ノ水駅
9月14～15日	在京花巻人会	花巻祭りツアー	お祭りー特産品フェアー大迫ワイン祭り	
10月9日	岩手県人連合会	21回ゴルフ大会	紫カントリークラブ	東武野田線野田市駅
10月12～13日	花巻観光協会	花巻市フェア	イトーヨーカ堂アリオ川口	JR川口駅 東口
10月27日	在京大迫人会	総会&集い	日本教育会館	東京メトロ神保町
11月4日	在京石鳥谷町人会	総会&集い	上野精養軒	JR上野駅
11月10日	在京東和町友会	総会&集い	東京ガーデンパレス	JR御茶ノ水駅
11月(下旬)	在京花巻人会	第26回歩こう会	計画中	
2月3日	在京東和町友会	獅子躍-節分会	中野 新井薬師	西武新宿線新井薬師
2月(初旬)	岩手県人連合会	新春懇親会	ホテルラングウッド	JR日暮里駅
2月13～16日	花巻観光協会	物産ー観光案内	平塚市民プラザ	JR平塚駅
3月(下旬)	在京石鳥谷町人会	お花見クルーズ	日本橋	地下鉄日本橋